

## 令和7年度 第2回 堺市 SDGs 未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和7年12月2日（火）13時30分～13時45分

場所 堺市役所本館4階 秘書課会議室

議題 堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案について

### <市長>

市政運営の大方針である「堺市基本計画」は10年先を見据えた5年ごとに策定する計画であるが、本日協議する「堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案」は、国際的な SDGs の目標達成が2030年であることから計画期間を2030年度までとしている。本市も2030年の SDGs 達成を強く意識し、様々な行動を進める必要がある。「堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案」は、17のゴールの実現イメージと意欲的な KPI を設定しており、2030年に向けた強い思いを示すものである。本日の会議を踏まえ、2030年のあるべき姿を見据えながら、計画で設定した各ゴールの KPI 達成に向けて着実に取組を進めてもらいたい。

### <市長公室長>

「堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案」は、世界の普遍的な目標である SDGs のゴール達成に向け、改めて市としてどのような取組ができるかを検討し、各局、各区との議論を経て計画案を作成した。また、「堺市基本計画 2030（素案）」との計画期間や KPI 等の整合性を図るなど、引き続き、両計画が連動した施策推進に向け、検討を進めてきた。

本日の会議では、作成した「堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案」についてご意見をいただきたいと考えているので、よろしくお願いします。

### 政策企画部より資料説明

### <市長公室長>

本件について、ご意見、ご質問等あれば、よろしくお願いします。

### <本屋副市長>

「堺市基本計画 2030（素案）」と連動させて、ゴールに対する KPI を設定することは目標を共通にできることから非常に良いことである。これら KPI の中で、現状の進捗状況から、課題があるものがあれば説明してほしい。

### <事務局>

ゴール7、13の環境分野、またゴール14、15の自然環境分野については、市単独での課題解決は困難な面が多い。今回の KPI 設定においても、庁内で何度も議論を重ね、設定して

いる。解決策としては、すべての KPI の達成や 2030 年のゴール実現に向け、行政だけでなく、市民や企業、教育機関など多様なステークホルダーが SDGs に関するアクションを起こすことや行動変容を広げていくことが必須である。本市の強みである「さかい SDGs 推進プラットフォーム」のような公民連携ネットワークや、大阪府や近隣自治体との連携も更に強化し、課題解決を図りたいと考えている。

#### ＜本屋副市長＞

行政内部においても関係部局との連携が難しいことがあり、さらに外部との連携は一層困難である。ステークホルダーとの関係については、堺市が持つ様々な仕組みを軸にしてより連携を深め、2030 年の目標達成に向けて進めてもらいたい。

#### ＜市長公室長＞

「堺市 SDGs 未来都市計画（2026～2030）案」については、会議後、議会へ報告し、12 月中旬から 1 月中旬にかけてパブリックコメントを実施する予定である。パブリックコメントの審査等を経て、2 月予定の第 3 回本部会議において計画を策定したいと考えているので、引き続きご協力をよろしくお願いする。